

孫文・梅屋庄吉と長崎プロジェクトを契機に長崎県と湖北省が締結した友好交流に関する同意書に基づき、両地にある4館の友好館関係を締結。各館の相互訪問、研究員（学芸員）の派遣・受入などの交流事業を展開。



サインする館長ら



1. 長崎歴史文化博物館と湖北省3館との友好交流協定書締結

(1) 締結日

2013年3月22日

(2) 締結者

長崎歴史文化博物館 館長 大堀 哲
辛亥革命博物館（武漢市立）館長 姚明修
武漢市中山艦博物館（武漢市立）館長 王瑞華
辛亥革命武昌起義記念館（湖北省立）館長 梁華平

(3) 交流項目等

- 各館トップの相互訪問
- 相互の臨時展覧会の検討・実施
- 相互学芸員の中短期研修への派遣・受入
- セミナー等の共同開催
- 図書、文物資料等の情報交換
- 情報化管理技術の情報交換
- 所蔵品の保管と修復技術等の情報交換
- 博物館（記念館）の運営・管理等の情報交換（ほか）

2. 交流事業の実施

(1) 2013年11月1日～7日（7日間）

- 湖北省武漢3館から3名の研究員が長崎歴史文化博物館において研修受講。古文書修復研修や館の社会貢献事業（学芸・教育）などについて受講

(2) 2014年11月28日～12月4日（7日間）

- 長崎県及び歴史文化博物館の学芸員が武漢市の3館で研修受講

(3) 2015年3月12日～

- 長崎歴史文化博物館において、「孫文と武漢」・「武漢3館」・「武漢市概要」等の常設パネル展示コーナーを設置。

(4) 2016年9月5日～9月11日（7日間）

- 長崎県及び歴史文化博物館の学芸員が武漢市の3館で研修受講

(5) 2017年10月23日～10月29日（7日間）

- 湖北省武漢3館から長崎歴史文化博物館への研修生の受入

(6) 2018年12月3日～12月7日（5日間）

- 長崎歴史文化博物館学芸員など3名が武漢3館で研修受講